

5
月号

学校だより



令和8年4月30日発行
東京都立中野特別支援学校＋
しいの木分教室
校長 伴 比佐志

<https://nakano-sh.metro.ed.jp/>

『ごあいさつ』

小・中学部副校長 中島 雄佑

4月に着任いたしました、「中島 雄佑 (なかじま ゆうすけ)」です。

神田川と桜の花に迎えられ、清々しい気持ちで門を入りました。周りには、桜の木、神田川、高層ビル、そして青い空のコントラストのバランスが絶妙で、あまり見たことのない景色を毎日楽しみにしています。桜の満開の景色、昼の青空と夜のビル群の夜景、通勤時の楽しみです。この後、季節が変わるとどんな景色が朝と夜に姿を見せてくれるのかが楽しみです。子供たちの多くはスクールバス通学なので通学時には見られませんが、校外での学習の機会に、桜の花びらと戯れる姿を見て、少し安心しました。本校の子供たちは、みな元気で明るくあいさつを交わしたり、話しかけてくれたりしてくれています。小学部から高等部まで、年齢差は最大12歳です。同居していても同じような活動を一緒にすることは難しいですが、小学部の子供たちにとっては、自分たちの近い将来を見ることができ、高校生たちにとっては、「みんなその道を通るんだよ。」などと大人ぶったりすることができます。多年齢の子供たちにとっての身近な大人は教員です。立ち振る舞いや言葉遣いなど、憧れの大人になれるように努力していきますので、よろしくお願いします。

『新たなチャレンジ』

高等部副校長 赤阪 早苗

今年度、高等部を担当する副校長の「赤阪 早苗」と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

さくら校舎1年目の昨年は、保護者・地域の皆様に支えられ、学習活動を進めることができました。2年目の今年度は、私たちも自立して一歩前へ進む年にしたいと思います。高等部では、卒業後の進路選択に向けて、小中学部で培った力を土台に、新たな挑戦をしていきます。小中学部の児童・生徒も、自ら選び、挑戦し、失敗してもまた挑む経験を積んでいきます。日々の授業や行事、校外での学習や地域との交流など、実体験を通して学べる機会を大切に、一人ひとりの「できた」を積み重ねられるよう支援してまいります。教員や保護者など大人が、子供たちの挑戦を止めたり制限したりしないよう、見守る心の準備と環境づくりを改めて整えていきましょう。

失敗を含めた勇気のある経験は、お子様の自信となり、将来のより豊かな生活につながっていきます。御家庭や地域の皆様と連携しながら、子供たちが安心して挑戦できる学校づくりを進めてまいります。

『「さくら」と「しいの木」の架け橋に』

しいの木分教室副校長 五十嵐 美雄

4月より、しいの木分教室の副校長として着任いたしました「五十嵐 美雄 (いがらし よしお)」と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

しいの木分教室は、周囲には菜の花畑が広がり、鳥の声も響く、自然に恵まれた環境の中で、日々の学びが大切に積み重ねられています。先日、児童・生徒は、分教室の畑に野菜の種や苗を植え、収穫に向け、心を込めて育てているところです。大切に育てた作物は地域の方々へお届けすると聞いており、今から楽しみです。

また、今年度も、さくら校舎としいの木分教室との交流を予定しています。距離としては離れている両校舎ですが、児童・生徒、そして教職員同士の心の距離は、より近いものにしていきたいと考えています。お互いを意識し合い、尊重し合える関係を築けるよう、交流の機会を大切にしながら親睦を深めてまいります。

保護者の皆様、地域の皆様と力を合わせ、児童・生徒一人ひとりが安心して学校生活を送ることができるよう取り組んでまいります。御理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。